本日は全国へき地教育研究連盟からメッセージを預かっていますので、代読させていただきます。

この研修会は、令和３年度末の調査によりICT活用頻度が地域や学校間に大きな格差が明確になったことから文部科学省の意向により、小・中学校に会員校がある全国へき地教育研究連盟が昨年度開催した研修会です。

大反響があったことから、さらにリニューアルして今年度も開催する運びで準備していたところですが、昨年度の参加者の中には、へき地校だけでなく、都会の学校職員などからも参加があり、さらに裾野を広げるべきとの文部科学省の指示を受けて、この度，全国連合小学校長会、全日本中学校長会にも参加協力をお願いし、本日、令和5年度の開催要項およびチラシを配布させていただきました。  
　ソサエティ5.0時代の教育者の必須アイテムは、ICTの効果的な活用にかかっているといっても過言ではありません。  
　民間の研修機会は多々ありますが、実際の学校現場での実践者や大学の研究者、さらには文部科学省の専門官が講師となった研修の機会は他のところでは受講することはできないでしょう。  
　この機会に各校で参加の検討をお願いいたします。  
　なお、遠隔による研修会の参加は、年々県費にての捻出も可能となってきています。  
　申し込みに関わっては、参加費の捻出方法も地元教育委員会に相談することを合わせてお勧めいたします。  
　本日は、貴重な時間をいただきありがとうございました。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　全国へき地教育研究連盟  
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　柿崎　秀顕